

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

地域連携推進センター ニュースレター 〈第44号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用武史

はじめに

地(知)の拠点整備事業(COC) 全国シンポジウム 開催

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」にて本学が採択されている「高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)化事業」において、全国の採択機関同士での情報交換・意見交換に基づくネットワークを構築することを目指しています。そのための取り組みとして、2月27日、28日に全国シンポジウムを開催いたします。

日時: 2月27日(金)13時~18時30分

28日(土)9時~12時

場所: 高知県立県民文化ホール・グリーンホール

今回は“地方創生”をテーマにし、日本創生会議座長の増田寛也氏を基調講演にお招きし、またパネルディスカッションでは地方創生に対して地の拠点大学が果たすことのできる貢献について議論します。

どなたでもご参加可能になっておりますので、ご興味ございましたら是非お申込みいただきますようお願いいたします。

シンポジウム情報掲載ページ

<http://www.kochi-coc.jp/info/dtl.php?ID=617&routekbn=S>

申込受付ページ

<http://www.kochi-coc.jp/info/dtl.php?ID=616&routekbn=S>

目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. カツオフォーラム in 中土佐 開催
Topic2. 高知大学・須崎市 連携協定締結

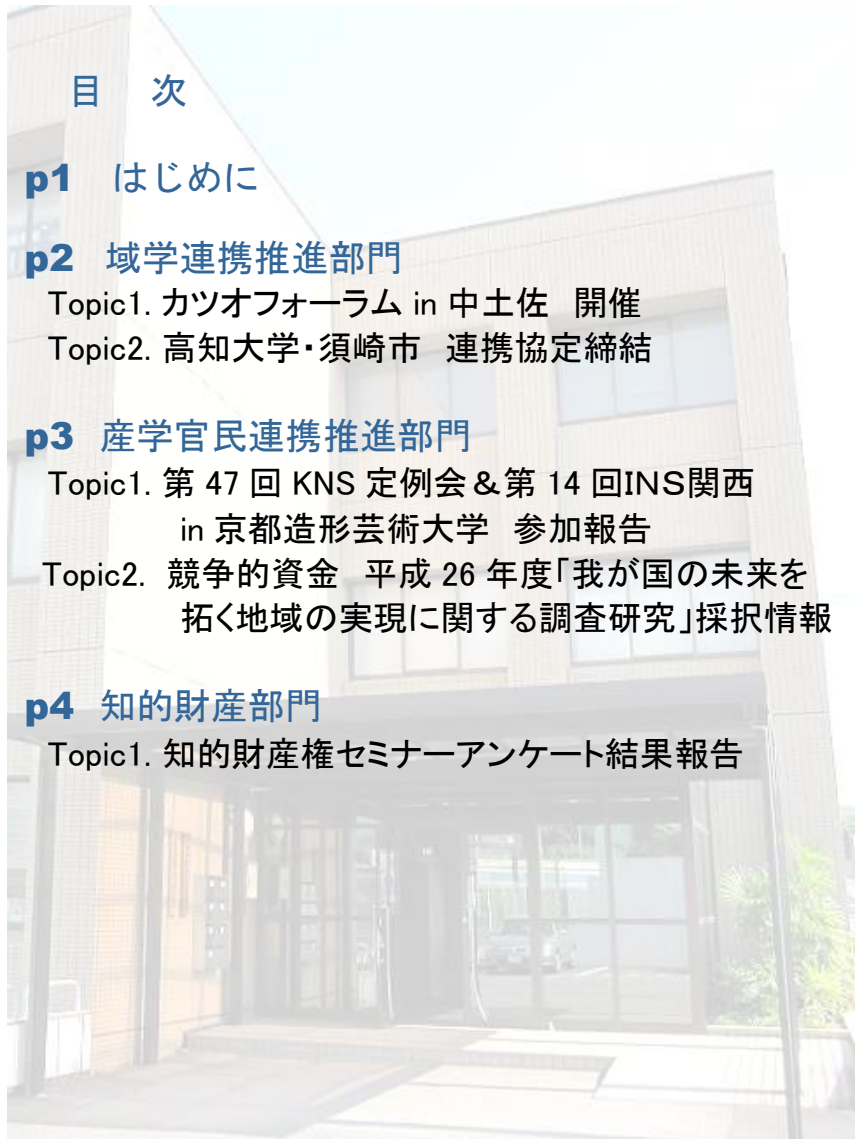
p3 産学官民連携推進部門

Topic1. 第47回 KNS 定例会 & 第14回 INS関西
in 京都造形芸術大学 参加報告

Topic2. 競争的資金 平成26年度「我が国の未来を拓く地域の実現に関する調査研究」採択情報

p4 知的財産部門

Topic1. 知的財産権セミナーアンケート結果報告



Topic 1. カツオフォーラム in 中土佐 開催

黒潮町との連携により実施している「日本カツオ学会」では、年1回、全国各地でカツオフォーラムを開催しています。昨年度の宮崎県日南市に続き、本年は高知県中土佐町を会場に、1月17日、18日に開催されました。

基調講演に山形先生、宮原先生をお招きし、近年の中西部太平洋の海況およびカツオ資源の動向をご講演いただきました。

<基調講演1> 地球環境変動に伴うWCPFC海域におけるカツオ資源と海況予測

山形 俊男 氏 (独)海洋研究開発機構アプリケーションラボ 所長

<基調講演2> カツオ資源の動向と今後の展望

宮原 正典 氏 (独)水産総合研究センター 理事長

また、高知県漁業振興課長や地元漁業者も交え、パネルディスカッションにより、これからのカツオをめぐる資源と産業の在り方について議論され、カツオを将来にわたって持続的に利用していくために、業界関係者や専門家だけでなく国内で広く認識を共有していく必要があることが述べられました。

次回は宮城県気仙沼市が開催地となります。



山形所長 基調講演



宮原理事長 基調講演



パネルディスカッション

Topic 2. 高知大学・須崎市 連携協定締結

1月22日(木)、高知大学と須崎市による連携協定調印式を執り行いました。高知大学にとって須崎市は市町村としては13番目の連携自治体となります。

須崎市との連携の内容は大きくは「人材育成」と「産業振興」になります。「人材育成」に関しては、平成27年度から須崎市職員が1名、地域連携推進センターに出向いただくこととなっており、今後、様々な連携事業を共に進めていくことで多くの経験を積んでいただくこととなります。一方、「産業振興」については、現在、須崎市産業振興計画の策定に地域連携推進センター職員が参画しており、今後、計画の実施にあたって総合的に本学の協力が求められることとなります。



須崎市との連携協定締結

Topic 1. 第 47 回 KNS 定例会 & 第 14 回 INS 関西 in 京都造形芸術大学 参加報告

関西ネットワークシステム(KNS)は、関西を中心に活動する産学官民メンバーが、互いにフラットな関係性を築き、自主的かつ積極的に交流・協働していく人的ネットワークに支えられた異分野コミュニティです。

平成26年12月13日(土)に京都造形芸術大学で開催された KNS 第47回定例会&第14回 INS 関西が京都造形芸術大学にて開催されました。

初めての芸術系大学での開催とのことで「多くの人達の幸せのために必要な芸術の力」をテーマに、地域活性化の新たな視点で議論が行われました。基調講演、応援メッセージ、活動紹介に続き、参加者参加型の12テーマによるトークセッションが行われました。

大会は、300名規模、交流会も大勢の方が参加され活発な情報交換がなされました。

今後、高知の産学官民ネットワーク組織である土佐まるごと社中(TMS)とKNSの交流を通して高知県の産業振興につながる取り組みに発展させていきたいと考えています。



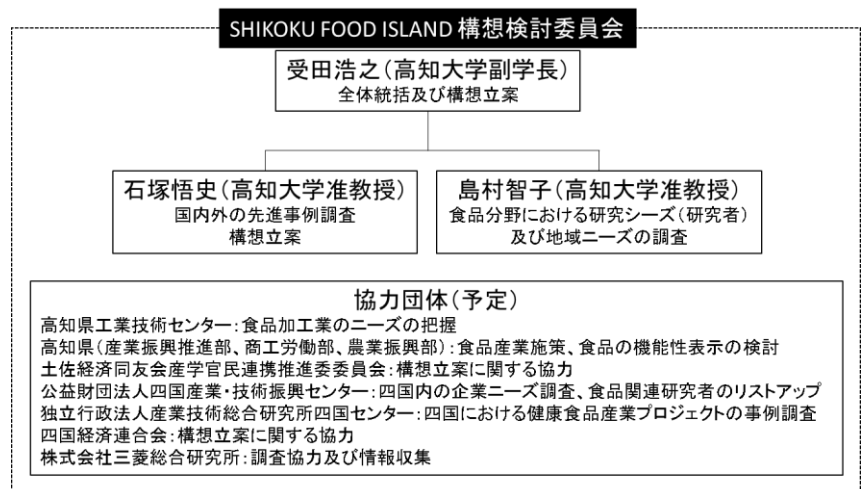
Topic 2. 競争的資金 平成 26 年度「我が国の未来を拓く地域の実現に関する調査研究」採択情報

平成 26 年度「我が国の未来を拓く地域の実現に関する調査研究」に受田浩之地域連携推進センター長の調査研究課題「四国フードアイランド構想」が採択されました。

本事業では、高知県を中心とした食品産業の振興によるフードバレー構想を作成するとともに、その構想を四国全体に広がる「四国フード・アイランド構想」へ展開することを目指すための調査を行う予定です。

具体的には、産学官金が連携した「四国食品総合研究所(仮称)」の立ち上げや、食品産業の中核人材育成プラットフォームの形成、イノベーションバウチャー制度の導入による中小企業の活性化などを検討することとしています。

2月には、オランダのワーヘニンゲン大学、フードバレー財団等を訪問し、海外の先進事例を視察する予定としています。



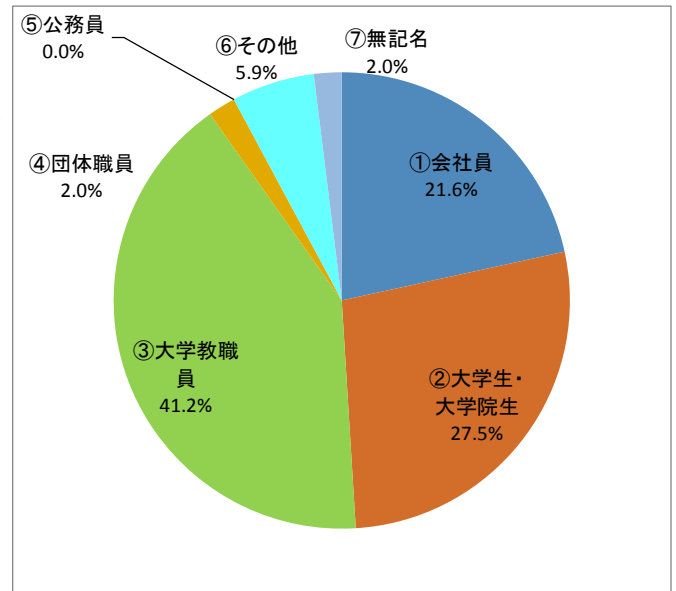
Topic 1. 知的財産権セミナーアンケート結果報告

昨年 11 月 26 日(水)に開催しました【平成 26 年度知的財産権セミナー ～社会で必ず、すぐに役立つ、知的財産の“いろは”～】には沢山の方に参加をいただきました。

アンケート集計結果の概略をお知らせします。(参加者 63 名、アンケート回答 51 名、回答率 81%)

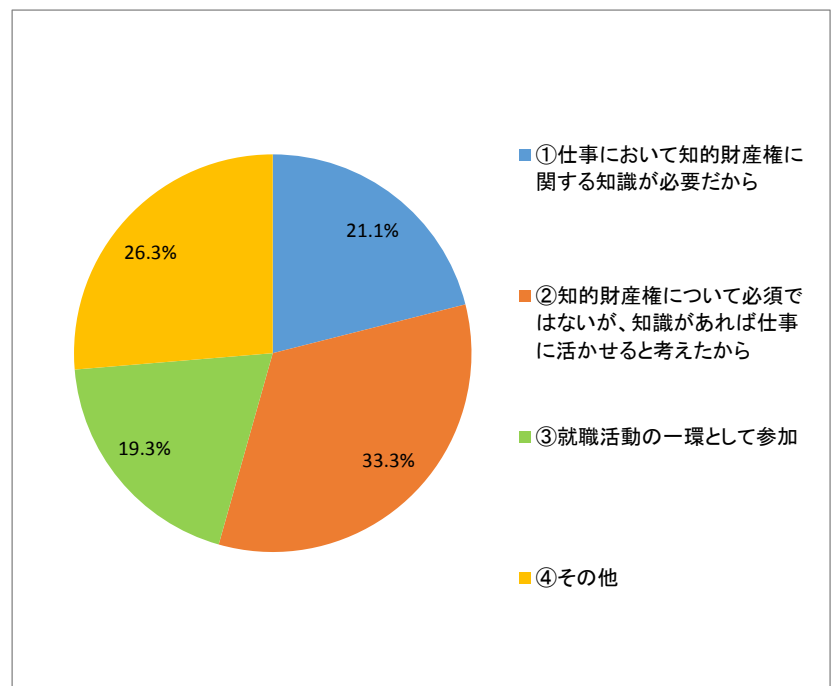
【参加者】

参加者の内訳は、「③大学教職員」が 41.2%と最も多く、次に「②大学生・大学院生」が 27.5%となりました。また、学外からも 3 割を超える方々の参加をいただきました。



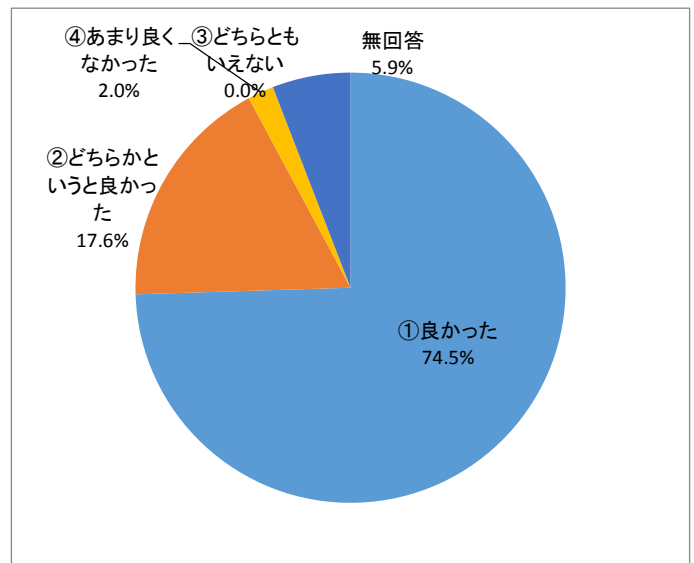
【参加動機】

「②知的財産権についての知識があれば仕事に活かせる」との回答が 33.3%と最も多く、「①仕事において知的財産権の知識が必要」との回答と合わせると 54.4%と過半数を超えました。知的財産権の知識が仕事に密接に関係していることを伺わせる結果となりました。



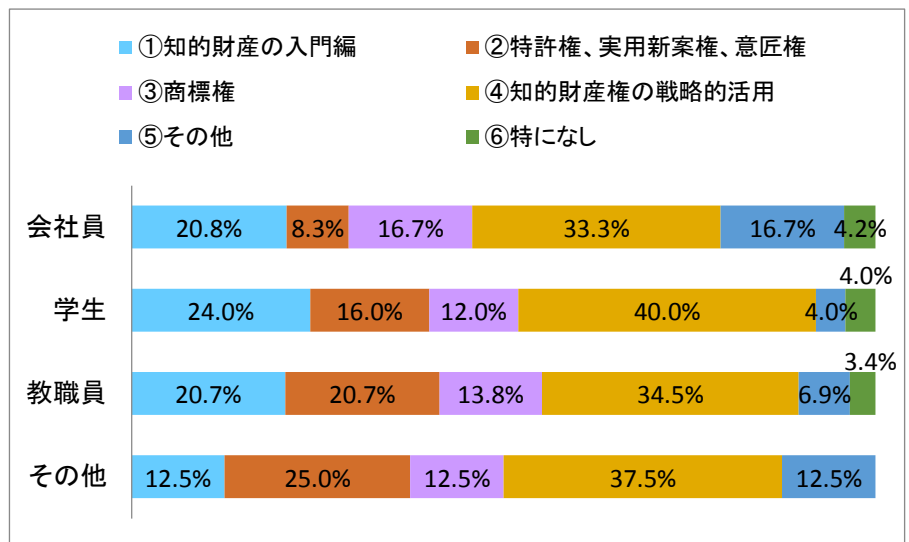
【本セミナーの内容】

「①良かった」、「②どちらかという良かった」を合計すると 92.1%となり、大半の参加者に満足していただける結果となりました。



【今後参加したいセミナー内容】

どの職業においても、3分の1以上の参加者が「④知的財産権の戦略的活用」に興味を持っていることが分かる結果となりました。



これらのアンケート結果を参考にして、今後も皆さんの役に立つセミナー等を開催していきます。